

先週、木曜日 3月 11 日は東日本大震災からちょうど 10 年がたつ
た日でした。6 年生は遠足中でしたが、1 年生から 5 年生までは黙と
うの前に教頭先生からお話をありました。新聞であったり、テレビで
あったり様々なメディアで特集があるので見てくださいということ
でしたが、見てくれたでしょうか？

地震やその後の津波、避難生活で亡くなったり、行方不明になった
りした人は 2 万 2 千人以上だと言われています。先生はちょうど中
学校の卒業式の日で、式が終わりトイレできばっている時に地震が
あり、頭がぐらぐらして体調悪いんかなと思ったのをよく覚えてい
ます。テレビで家や車が流されていく様子を見て、これが本当に現実
なのかと思い、恐ろしくなったのを記憶しています。そして、津波で
は福島の原子力発電所も被害にあいました。放射能が漏れて、ある場
所では人が住めなくなりました。東北のことなので、みなさんにはピン
とこないかもしれません、原子力発電所のことは、みなさんにもお
おいに関係がある問題です。みなさんが住んでいるこの場所でも福
井県の原子力発電所で作られた電気がきています。発電には水を使
ったり、火を使ったりいろいろな方法があり、最近では風の力を利用
することもできるようになっています。電気を作るにはお金がかか

ります。費用の問題や自然への影響の問題など、いろいろな問題が複雑に絡み合っていて、どの発電で電気を作るかに正解はありません。福島の事故の後は、原子力発電所をなくすべきだという声もたくさんありました。今は少なくなってきたように感じます。原子力をこれからも使っていくのか、少しくらい電気料金が高くなあっても、原子力に頼らずに生きていくのかを判断していくのは自分自身です。みんなの数だけ正解があるといえるので、しっかり考えて答えを見つけていってください。ぜひ、みなさんはいろいろなことに疑問を持ち、考える習慣をつけて欲しいと思います。まずスタートに、今日、おうちの人と電気や原子力発電のことについてお話を聞いてみてくださいね。